

令和3年度 飯塚市老人クラブ連合会事業報告

令和3年度は前年から引き続き新型コロナウイルス感染症のまん延の影響で、老人クラブの活動は制限されましたが、このような中にあっても感染予防対策を講じながら「健康」「友愛」「奉仕」の精神を踏まえ可能な限り活動に取り組んでいきました。

会長、副会長等で毎月開催する役員会は緊急事態宣言のため中止となった月もありましたが、定期的に行われ5支部間の連絡調整、事業の進捗状況の把握を図りました。なお、5月の理事会開催後に緊急事態宣言が福岡県に発出されたため、令和3年度総会は昨年と同じく書面議決の方法で実施しました。令和2年度事業報告及び決算、令和3年度事業計画及び予算、すべての議案について全員賛成で議決されました。

健康づくり事業では、飯塚市老連のゲートボール大会、ペタンク大会は7月に実施できましたが、飯塚市長杯グラウンドゴルフ大会は最終的に日程の調整がつかず中止となりました。なお、3月のメモリード杯グラウンドゴルフ大会は協賛企業のご協力により実施することができました。

8月後半から9月にかけて再度緊急事態宣言が発出され、9月に予定されていた筑豊地区三大スポーツ大会は日程調整がつかず2年続けて中止となりました。福岡県三大スポーツ大会は予定どおり開催され本会からも選ばれた会員が参加しました。

恒例の「新春カラオケ大会」は年明けのオミクロン株新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により1月には実施できませんでしたが、開催時期を3月16日に変更し、入場者の制限、出場者数の縮小、公演時間の短縮、感染予防対策を十分に講じて実施することができました。出演者は2年ぶりのステージで元気いっぱい歌い演じました。

県老連主催の研修会関係では、6月の「単位クラブ新任会長研修会」、7月の「高齢者相互支援リーダー研修会」は飯塚市で研修会が開催されましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から半日の日程で時間を短縮し開催されました。

8月の「広報紙づくり研修会」は昨年引き続き中止になりましたが、11月の「女性リーダー研修会」、12月の「健康を進める運動」「体力測定講習会」は十分な感染予防対策を講じて実施され、市老連から多くの会員が参加し、会員の知識と技術の向上に努めました。なお、2月に予定されていたペタンク講習会は福岡コロナ警報の発令で2年連続中止となりました。

高齢者向け体力測定事業は、高齢者ひとり一人が自分の体力を知って、運動の習慣を身につけ、健康づくりに役立てるものです。各支部は感染予防を講じて実施していますが、今年度の体力測定会は開催回数8回、参加者139人となっています。

また、栄養管理の知識の向上と食生活について学ぶ高齢者料理教室は開催回数12回、参加者197人となっています。コロナ禍のため会員の健康と安全を考えて中止したところが多く、開催回数、参加者ともに減っています。

高齢者ネットワーク推進事業(愛の一声運動)は安否確認を中心に、地域で高齢者が相互に助け合い支え合う活動として各クラブで取り組まれています。令和3年度はコロナ禍のため活動を取り止めたクラブもありましたが、訪問の方法や時期等感染予防に考慮して活動しました。62クラブ225人の支援活動員が、953名の方に延べ6,124回の訪問活動を行いました。

9月の「社会奉仕の日」を中心に1年を通して取り組んだ奉仕活動は、感染予防対策を講じたうえで地域の自治会などの団体と協力し、公共的施設の清掃などの美化活動や資源ゴミの回収などの活動に取り組みました。令和3年度は参加クラブ数58クラブで、参加者数は2,519人となりました。

多年にわたり高齢者福祉に貢献した功績、老人クラブの発展に寄与した功績を顕彰して、県老人クラブ連合会会長表彰4名の会員が表彰されました。なお、令和3年度から福岡県ねんりんスポーツ文化祭のイベントの催しは中止となり、表彰式のみを式典を開催する方式に変わりました。

令和4年4月1日現在、飯塚市老人クラブ連合会は老人クラブ数89クラブ、会員数2,830人となっています。